

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
外国語	論理・表現Ⅲ	2	習熟度別	共通	3

教科書（発行所）	be English Logic and Expression III Clear（いっずな書店）				
教科書以外の教材	1 英作基本文例 600（啓隆社） 2 必携英単語 LEAP（数研出版） 3 新・英語の構文 150（美誠社） 4 EARTHRISE 総合英語（数研出版）				

学習の到達目標		「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。		
	学期	学習内容	具体的な活動	考查等
学習計画	1 学期	L1 A City Worth Visiting	L1 街を紹介する。伝えたいことに応じて、受動態を正しく使う。 L2 生まれ育った街について話す。街の課題について話したり、文章を書いたりする。 L3 ・街づくりの提案に関する文章について、情報を整理し理解する。街づくりの提案について話したり、文章を書いたりする。 L4 ひとり時間の過ごし方に関する文章について、情報を整理し理解する。ひとり時間の過ごし方について話したり、文章を書いたりする。	課題考查
		L2 Our Hometowns		中間考查
		L3 What Makes a City Attractive?		期末考查
		L4 How Do You Spend Your Time?		
	2 学期	L5 Try Something New	L5 スポーツについて話したり、文章を書いたりする。伝えたいことに応じて、差の程度を正しく表現する。 L6 ・映画の日本語版と英語版の違いについて、情報を整理し理解する。映画の日本語版と英語版の違いについて話したり、文章を書いたりする。 L7 環境問題について、情報を整理し理解する。環境問題について話したり、文章を書いたりする。 L8 再生可能エネルギー、洋上電力発電について話したり、文章を書いたりする。分詞で名詞に説明を加える。 L9 環境問題に関する意見について話したり、文章を書いたりする。不定詞で名詞に説明を加える L10 ・外国人労働者の受け入れについて話したり、文章を書いたりする。伝えたい意味に応じて、不定詞を用いて文を作る。	課題考查
		L 6 Future Activities		中間考查
		L 7 Staying Healthy		期末考查
		L 8 New Products		
		L 9 Hobbies and Interests		
L 10 The World of Nature				
3 学期	L 11 Social Problems	L11 フェアトレードについて、情報を整理し理解する。フェアトレードについて話したり、文章を書いたりする。 L12 世界の貧困について、情報を整理し理解する。世界の貧困について話したり、文章を書いたりする。	課題考查	
	L 12 Making a Wish		学年末考查	
備考	1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。2 日本語と英語の音の違いを学び、音読を積極的に取り入れる。 3 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 4 授業中は説明を集中して聞き、メモを取り、下線を引く習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、丁寧にまとめる。 5 予習→授業で確認→復習のサイクルを身につけて繰り返すことが確かな英語の力となる。			

評価の観点	ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価の方法	上記の観点に基づいて学習のまとめごとに A, B, C で評価し、学年末に 5 段階評価の評定にまとめる。 【評価対象】(a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等 (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) 小テスト・定期考査等のペーパーテスト 【評価結果】A (3) : 十分満足できる状況 B (2) : おおむね満足できる状況 C (1) : 努力を要する状況		